

中間まとめ報告会（志手原小会場）会議録

日 時	令和3年7月4日（日） 10時00分～11時55分
開 催 場 所	三田市立志手原小学校 体育館
事務局出席者	（学校教育部長）松下 修 （学校教育部次長）外岡 明文 （教育総務課長）浅野 晋司 （学校教育課長）山本 直也 （教育総務課担当課長）上野 樹 （教育総務課指導主事）松田 成行
次 第	1. 開 会 2. 地域協議会の概要、協議の経過、地域協議会・部会が出された主な意見、 中間まとめの内容、今後の進め方について の報告 3. 意見交換 4. 閉 会
参 加 者	19名

報告会の概要

	<p>1 開 会</p> <p>—松下学校教育部長 挨拶—</p> <p>2 地域協議会の概要、協議の経過、地域協議会・部会が出された主な意見、 中間まとめの内容、今後の進め方についての報告</p> <p>—事務局より【パワーポイント資料】および【参考資料】に基づき報告—</p> <p>3 意見交換</p>
参加者	3点ほど質問がある。まず、この再編の件について、子どもたちに意見を聞いたのか。
事務局	まだ聞いてはいないが、今後何らかの形で聞いていきたい。再編そのものについて聞くのは難しいので、聞き方については配慮しながら考えていきたい。
参加者	<p>子どもの心のケアというならば、まず子どもの声を聞くべきではないか。</p> <p>次に、通学のことだが、この2ヶ月ほどで中学生の自転車事故が3件あったと聞いた。中学校まで自転車を通うリスクは高い。今回大規模校になると、三輪小等と通学時間が重なる。事前にシミュレーションして、実際に通学する時に困らないようにしないといけない。</p> <p>他市では、通学手段として電車を活用している。場合によっては、電車での通学もあるのではないか。また、ある町で小学校の統合の話が出た時に、保護者から「ス</p>

事務局	<p>クールバスを走らせてくれるならば、統廃合してもいい」という発言があった。通学手段は本当に大事だと思うので、路線バスまたはスクールバスの計画を明示しなければ合意できないと思う人も多い。</p> <p>通学時の事故というのは大きな課題である。事故の原因として、自転車の並列走行、前方不注意による事故が非常に多い。それを防ぐために各中学校では、指導を重ねているが、統合にあたってそれまで自転車通学した事のない生徒が自転車通学するようになれば、小学校段階からの交通安全指導を徹底する必要がある。また、通学時間帯が重なることで起こる接触事故も非常に多い。歩道が狭い等のハードの問題がある一方、「相手に譲ろう」という部分が欠落しているような事故も多い。このあたりについてももしっかり指導し、安全に通学できるように進めていきたい。</p>
事務局	<p>バスについては、本日の「参考資料」7ページ「統合にあたって留意すべき事項」の「通学の手段および通学の安全確保等」の中で「バス通学を基本とする」とまとめていただいている。路線バスでは学校の時間と合わないことがあるが、全てをスクールバスにしてしまうと、路線バスが廃止されることも考えられる。事業者とも話をしながら、学校の時程にあった路線バスの運行、もしそれが出来ないのであれば、スクールバスを検討したい。新設校の場所がどこになるかにもよるが、電車通学は想定していない。</p>
参加者	<p>1つ目は、教育委員会が考えている生徒にとって良い教育環境について教えてほしい。パワーポイント資料2ページを見ると、上野台中と八景中の人数を合わせると600～700人ぐらいになる。今後、人数的には何人ぐらいの規模を目指しているのか。学校規模が大きくなると、例えば文化祭等のイベントの時に保護者の駐車場がない、座る場所がない、見る場所がない等の問題が起こってくる。それをどうするのか。</p> <p>2つ目に、部活が多くなればいいという話だが、今の世の中の傾向を見ると、部活をやらない子が増えている。部活よりも、家族との時間や勉強の時間が大事だという傾向があるように思う。今回の新型コロナの関係で、教育のスタイルが変わってきている。みんなが遠いところまで行って通学時間が増えて帰りが遅くなるよりも、ハイブリッド形式での教育を取り入れる等、やり方を大きく考え直すきっかけにもなるのではないか。私たちがこの地域に移ってきた一つの理由は、学校がそんなに大きくなり、中学校と小学校があり、少人数での教育ができるところがうちの子にとってメリットだと考えているから。学校を統合して人数が多いからいいとは、私は思わない。教育委員会の考える最適な教育環境とは何なのかを教えてほしい。いろいろな学校を統合すると、派閥みたいなものができるのではないか。農村地域から来ている子と都会から来ている子とでは、塾等の環境が違うので、例えばうちの子たちは時間になればみんなバスで帰らなきゃいけないが、家が近くの子たちは残って話ができる等の違いが出てきて、いじめにつながらないかと少し気になる。そちらの方の配慮をどう考えているのかを教えて欲しい。</p>

事務局	<p>中学校においては、多様な人との出会いが大事であり、学年 3～6 学級程度が良いのではと考える。少人数の学校にも当然良さはあるが、やはり多様な人との出会いを大事に、中学校 3 年間を送らせてあげたい。部活動については、以前は勝つことにこだわったものが多かったが、今は生涯を通じてスポーツや文化的なことをやっていくような部活動に大きく変わってきている。また、今は必ず入らなければならないという指導はしていないが、それでも中学生の約 90%が部活動に入り、様々な体験を重ねている。</p> <p>少人数の学校でも ICT 等を活用することで多様な学びや体験をする機会を確保できるが、日常生活においてできるだけ多くの異なる意見と相対するためには、一定の人数規模は必要かと思う。ただ、住んでいる地域の特性によりなかなか混じり合いにくいのではないかと不安に思われる保護者もあるだろう。統合することによって生じる不安・悩み・ストレス等は、お互いを知らないところから始まると考える。そこで、交流等により事前に知り合う機会を持ちしっかりと情報を伝えていくことで、できるだけストレスを軽減させながら子供たち同士の出会いが良いものになるように進めていきたい。</p>
事務局	<p>新しい学校では、駐車場も必要になってくるかと思う。そのようなことも考慮したい。適正な人数については、基本方針にあるように「中学校では 9～18 学級」、つまり 1 学年 3～6 クラスと考えている。これを人数にすると、少なく見積もると 1 クラス 21 人ずつとして 189 人、最大では 1 クラス 40 人として 720 人になる、その辺りを適正規模と考えており、部活動や教職員の配置、学校行事等がうまくいくのではないかと考えている。</p>
参加者	<p>アメリカ人である自分としては、40 人は多いと思う。アメリカの小学校では 20 人位、中学校だと 25 人位だ。うちは上野台中がちょうどいいと思いここに来た。大事にしたいのは、学校にしっかり行き、家での生活ともバランスを取ることなので、学校まで遠いと通学に時間がかかりあまり望ましくないと思う。例えば学校には週 3 回行き、あと 2 回はオンラインで学習する等、教育のハイブリッド形式を考えてみてはどうか。部活も、例えば英語であればみんな同じ部屋にいないといけなわけでもない。そのような未来的な考え方を取り入れてやっていくと良いのではないか。</p>
事務局	<p>ICT を使った学習のあり方としては、国の方でも GIGA スクールを進めているところである。例えば、デジタル教科書を取り入れる等、その動向を注視しないといけないと考えている。ハイブリッド方式というのは、タブレットも使いつつ、学校では今までと同様集団で教育を受けるということである。タブレット端末のいいところもあるが、やはり基本的には人と人との関わりの中で社会人になっていくことが非常に大事な部分であり、その機会が全て置き換わるものではなく、両方の良いところをうまく使いながら子どもたちの全人的な成長を促すのが、現在の国の考え方である。その点については、今後十分に情報を取り入れていく必要があるが、</p>

<p>参加者</p>	<p>一旦全員が集まって学習できる環境が基本になるかと考えており、そのためにも新設校への統合が必要であると考え。</p> <p>説明会の資料で気になっているのが、資料の3ページのスライド5で今回の再編によるメリットしか書いてないのはちょっと違うと思う。再編することによってデメリットも生じる。それもじっくり検討した上で「デメリットを最小限に抑える」ということも提示してもらいたい。</p> <p>2点目は、スライド番号25で今後のことが書いてあるが、最終的にいつ判断するのかということを示してほしい。幼稚園は令和6年と聞いているので、時期についてある程度打ち出してもらいたい。</p> <p>3点目は、上野台中部会で、「行政案とその他の方策」について検討した総合評価の資料が出され、通学による安全性が行政案では総合4になっており、現状が3なので、今よりも良くなるという評価であった。これを確実に守ってほしい。この評価点数を自分は結構重要視しており、ちゃんとその評価になるように今後検討してほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>再編のデメリットとしては、通学距離が少し遠くなるということである。</p> <p>次に、評価資料だが、新設校を作るに際して建設費用がかかることから「建設の経費」は1としている。バスの運行については、経費がかかることから2としている。そして、先ほど言われた「通学の安全性」を4としたのは、通学の手段として路線バスの活用、それが叶わない場合にはスクールバスも含めて検討することから4とした。部会からも出ているように遠距離通学基準の柔軟な対応についても、十分検討していきたい。</p> <p>2点目の質問については、この中間まとめの報告会が終わり、アンケートをとった上で、第4回地域協議会で最終まとめをしていただく予定である。ただ、議論が1回で終わるかどうかにもよるが、今年末までに結論が出れば、その後市として判断することになるが、それほど日にちはかからないと考える。</p> <p>最後に、評価として付けた点数になるように確実に守ってほしいという点については、そのように考えているのでご理解いただきたい。</p>
<p>参加者</p>	<p>資料の9ページスライド17には、松が丘のPTAの方が「上野台中に行かせてほしい。松が丘の大半の人は、八景中には行きたくない」と言われ、三輪の地域の方が「三輪小からは八景中にしか行かない。上野台に行くことは考えられない」と言われたことが載っている。上野台に行くことは考えられないというのは、個人の意見だと思うので、ここに載せないでほしい。今、ゴルフ場の前付近の人は坂を降りて三輪小に通っている。帰りは、小学生がしんどい思いをして坂を上がって来ている。自分は、部会で、校区について希望選択はできないのかという事を発言した。それについて、何か具体的な話はあったのか。松が丘から100人の生徒のうち60人位が上野台に来れば5～6年前の上野台の生徒数になる。三田市もこの統合には相当な出資をすることになるので、その意見はすごく大きいのではないかと。通学に</p>

事務局	<p>関しては、高平や小野の生徒が上野台に通っているバスに同乗して三輪まで行けばよいのではないかと。松が丘を上野台中校区にすることについて何か具体的な方向性はあるのか。</p> <p>その件については、松が丘・三輪それぞれの委員から意見を聞いた。松が丘からは「上野台中に行ってもよい」三輪からは「そのような考えはない」という意見だった。個人的な意見と言われているが、地域を代表して委員として出てきていただいているので、その意見については大事にしていきたい。今後、この報告会を松が丘・三輪でも開催するので、そこでの意見を次回の協議会で報告したい。</p> <p>また、「松が丘から上野台中へ」という意見については、再編されるまでの間の措置として、松が丘の他の方の意向を改めて確認した上で考えていきたい。</p> <p>校区の希望選択制については、どちらの学校にも行けるとなると一方の学校に生徒が偏るということも危惧されるが、今後検討していくべき事項であると考えている。</p>
参加者	<p>先ほど発言された方の意見に同感。資料2ページを見ると、狭間小360人、富士小259人については問題ないとして運用している。今は、三輪・松が丘からみんな八景中に行っているが、校区の境目を見直しすれば統合する必要はないのではないかと。将来的に人数の変化にはばらつきがあると思うし不安定なところもあると思うので、一つの学校に絞るっていうよりも二つの学校を半々にしておいた方が柔軟性があり、将来的にも選択肢が増えると思う。そうすれば、半々とする300人と300人位になり、両方の良いところも生かしてやっていけるのではないかと。</p> <p>また、生徒や保護者の意見も聞いてみると、もう少し明確な方向性が見えてくるのではないかと。どうしても昔のように700～800人ぐらいの大きな学校を維持する必要があるかどうかを見直してもいいのではないかと。</p>
事務局	<p>松が丘からの生徒が増えればよいのではないかと話だが、松が丘小の児童数を足しても50人程度となり、適正規模には満たない。適正規模に満たなければ先ほど説明したように、子どもたちの学びの環境として、選択肢が少ない等の課題が生じることから、行政案を考えた。また、ニュータウンも同じではないかという意見だが、もちろんそれについても考えていく必要があるが、今回まず第1次計画として上野台・八景の再編を提示している。昔の形に当てはめようというのではなく人数が非常に減ってきたことにより、学校の中での子どもたちの教育活動に支障が出ているのではないかとということである。</p> <p>確かに小規模で良いと言っている人もいると思うが、我々としてはある程度の規模が必要であると考えている。</p>
参加者	<p>先ほどのハイブリッドの話に戻るが、必ずしも物理的に同じ学校にいる必要があるのかと思う。二つの学校だと必要な教員が確保できないという話だが、少しでもハイブリッド形式に変えると、同じ学校に10人ずつの教員は必要ないのではないかと。</p>

事務局	<p>か。例えば、国語の先生がオンラインでつないで二つのクラスを教える。次の時には、もう1つの学校に行き同じようにオンラインでつなぐということも考えられるのではないかと。部活でも、野球部のように一緒にないと無理というものもあれば、英語の部活などはオンラインでできるかもしれない。芸術の分野でも、コーラス部や吹奏楽部では、オンラインを通して一緒にやるなどいろいろな方法があるのではないかと。今回のコロナでわかったことも含めて、未来的な考え方をすればよいのではないかと。</p> <p>確かに、役所の会議でも内容によってはオンラインで行っており、例えば知識を伝達するという事は、実際塾などでも行っているように、ズームでも十分機能を果たせると思う。ただ、実際にオンライン会議を経験して、人と人との熱や思いなど、やはり対面でしか伝わらないものがあるのではないかと感じる。おっしゃる通り、内容によっては Zoom やオンラインで授業を流す方法は十分考えられ、取り入れていきたいと思うが、そうでない部分がどうしても残ってくるのではないかと考える。今回、一定の規模を確保した学校を作ろうというものであり、今後50年100年先でも使える学校、さらに、子どもたちが元気に学習できる環境として統合校を考えている。オンラインも活用しながら、ある程度の集団でしか体験できないことも想定しながら検討を進めていきたい。市内には他にも小規模化が進んでいる学校があり、小規模化による課題をどうするのかを考える機会を持っていきたい。</p>
参加者	<p>その部分は、私も理解している。コロナ化の中、自分もテレワークが非常に多くなった1人である。海外との会議も多く、昔は高い費用をかけて出張し、みんなが集まって会議をしていたが、今は時代が変わってきている。どうしても一緒にいたい、やりたいという部分はわかる。ただ、私たちの子どもたちの時代は変化していく。新しい時代を作り上げていくので、オンラインにしても今のうちにしっかり教えていかないと、私たちのようにこぼれてしまうことになるのではないかと。アフターコロナでも、このままテレワークを続けると多くの会社が発表している。対面ではなくオンラインを通してやっていく世界も増えてくるので、その部分を大事にしていく必要があると思う。</p> <p>昔の考え方でいくと、生徒数が少なくなると統合するしかなくなる。そうになると、どんどん学校が少なくなってしまう、まちの発展がなくなるのではないかと。将来、三田市に学校が1つということにもなりかねない。だから、今の段階で新しい考え方でやっていかないと今後難しくなるのではないかと。例えば上野台中がなくなるとこの辺の地域に住みたい人が減り、そのまま消えてしまい、新設した場所に人が集中することになってしまう。市をどう活性化するかということとは、逆のことをやっているように思う。志手原小や上野台中の周りは結構土地もあり、発展できる所だと思う。今後小学校も統合し、学校がなくなれば、誰も来なくなるのではないかと。その辺りのことをもう少し考えてほしい。</p>
事務局	<p>テレワークが進んでいる会社や、本社をなくしてテレワークだけという会社があ</p>

<p>参加者</p>	<p>るということは見聞きしている。テレワークや ICT を使った環境の中でどんなことができるのかという可能性をもっと考えていく必要があるということは理解する。今後国からどのような方向性が出てくるのかも予測しながら、テレワークなども十分活用する教育の可能性について考えていきたい。</p> <p>今回この報告会をするにあたり、関係の部署とも話し合いをしてきたが、今後も市役所の中で共有をしながら、学校の再編と地域の活性化の両方に取り組んでいきたい。</p> <p>質問としては4つ程ある。1つ目が長坂と藍の統合を断念した理由は、何だったのか。2つ目が上野台中のある所からバイパスが延びる計画があるが、そのことを地域協議会で話されているのか。一番心配なのは通学の問題。なぜ母子から八景中に行かないといけないのか。三田駅から歩けない距離であり、三田駅からまたバスに乗り換えるのか。松が丘の子が上野台中に通学するという事は検討されたのか。これが3つ目。4つ目は、再編のメリットは書いてあるが、デメリットが書いていない。デメリットについてはこう解消したいということを書くべき。</p> <p>最後に、失礼なことを言うが、上野台中は学力が低いと聞いている。高校への進学率も低いのではないか。部活でも全然勝つことが出来ないのではないか。バスの時間があるため、4時半には活動を終わらないといけない。それでは強くはなれない。それが、統合によって良くなるのか。そのようなことも考慮した再編案なのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>1 点目の長坂・藍については、基本計画の説明会を開き、地域協議会の設置を呼び掛けたが、地域の方の反対意見が多く、そこには至らなかったということである。1次計画の「長坂・藍を統合して長坂に」という案については取り下げているが、小規模化の課題が解消したわけではないので、現在保護者の代表と話し合いを続けているところである。2つ目については、廃校後のことと思うが、学校の跡地の活用については、統合決定後に協議をすることになっている。3つ目については、母子から八景中に行くという提案ではなく、八景中校区内のいずれかの場所に新しい学校を作るという提案である。三田駅で乗り換えるのかということについては、場所がまだ決まっていないので明確には答えられないが、出来るだけスムーズに通学できるように考えていきたい。また、クラブ活動から帰る時間については、そこも踏まえて学校の時程に合わせた路線バスまたはスクールバスを出す等のことを考えていきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>学力のことだが、私も上野台中で勤めていた実感として、上野台中の学力が低いということはない。何をもって学力を図るかということもあるが、進学実績に特化して考えても、上野台中の子どもたちの進学実績が市内の中学校に比べて低いということは決してない。</p> <p>次に、部活動については、確かに勝ち負けも重要な目的の一つだが、まずは子どもたちが入っている部活動にどれだけ充実感を感じているかということに尽きると思う。そういった面で上野台中の子どもたちが今所属している部活動で充実感</p>

が得にくいということは決してない。実績にしても、吹奏楽部等はいろいろな地域に出演し、非常に高い評価を得ている。剣道部は地域の剣友会と協働しながら、実績を上げている。バレーやバスケットボールについても、地域のスポーツとできるだけ連携しながら行っており、上野台中の部活動の実績が著しく劣っている、全く充実感を感じていないということは決してないので、安心してほしい。

4 閉 会

—松下学校教育部長 挨拶—